

まごころだより

2022年 11月号

“風船バレー”

テーブルを囲んで風船バレーをしました。初めの頃は少人数でしたが、今ではたくさん参加してもらえるようになりました。普段は大人しい方がこのゲームが始まると考えられないくらい機敏な動きになります。動きだけではなく、大きな声を出され夢中になって遊ばれます。下に落ちないように打ち上げる緊張感が程よく刺激になるのでしょうか。

楽しそうです。

“ババ抜き”

すっかりルールが分かってこられたのか、次の方の表情まで感じ取って、いわゆるポーカーフェイスで取らせることまで考えているようです。難しいルールはないのですが、ババを取った人の表情を見て楽しんでいるようです。

“折り紙”

チラシを折ってゴミ箱を作ってもらっています。普通の折り紙でもいいのですが、ある方がどうせなら役に立つ物がいいのではないかとと言われて作ってもらっています。強制はしないのですが、性に合っているとされていて自ら進んで作られます。それを見てか他の人もやり方を教わって作られるようになりました。そうすることで交流と会話が生まれて良い雰囲気になります。

“子供とカード遊び”

孫はもう大きくなり遊んでくれなくなりましたが、ひ孫のような子供と一緒に遊ぼうとせがむと、嫌な気にはなりません。なんだかよく分からない遊びですが、一緒なのが楽しそうです。終始笑顔なのが側で見ても微笑ましくなります。

“秋の散歩”

朝の内は肌寒いのですが、午後に入ると暖かになったので少しだけねと日向ぼっこに誘いました。数人だけのつもりでしたが、外に出る話が伝わって参加者が増えてしまいました。葉っぱが色付いて紅葉が楽しめる季節でもあって嬉しそうです。普段外出できない車椅子の人は特に嬉しそうです。落ち葉をたくさん持って帰ってこられたので、それを使って何か飾りを作ろうと思います。



